

第一部

レクチャー &
デモンストレーション

小笠原匡

狂言「しびり」

太郎冠者 小笠原弘晃
主 小笠原匡

狂言「萩大名」

大名 野村万蔵
太郎冠者 吉住講
亭主 野村万禄

第二部

創作狂言「千葉の羽衣」

男 小笠原匡
天女 野村扇丞
仲間の天女 中本義幸
千葉大生 千葉大生
魑魅魍魎 野村万禄

山本豪一
友江恭平
三条会
ワークショップ受講者

従者 吉住講
泉慎也

子供 小笠原弘晃
音楽 太田豊 他

後見 野村万蔵

作・演出 小笠原匡
監修・考証 橋本裕之
出演協力 三条会
若菜の会

平成19年

12月1日[土]

開場 13:30 開演 14:00

青葉の森公園芸術文化ホール

入場料 [全席指定・税込] S席 4,000 円 / A席 3,000 円
(学生は各 1,000 円引き)

●チケットのお求めは各プレイガイドまで●

青葉の森公園芸術文化ホール...043-266-3511

千葉県文化会館...043-222-0201

千葉市民会館...043-224-2431

千葉市文化センター...043-224-8211

千葉市若葉文化ホール...043-237-1911

千葉市女性センター...043-209-8771

千葉三越友の会...043-224-8228

主 催 財団法人千葉県文化振興財団

制作協力 千葉大学文学部日本文化学科橋本裕之研究室

協 力 千葉氏フォーラム 千葉氏顕彰会

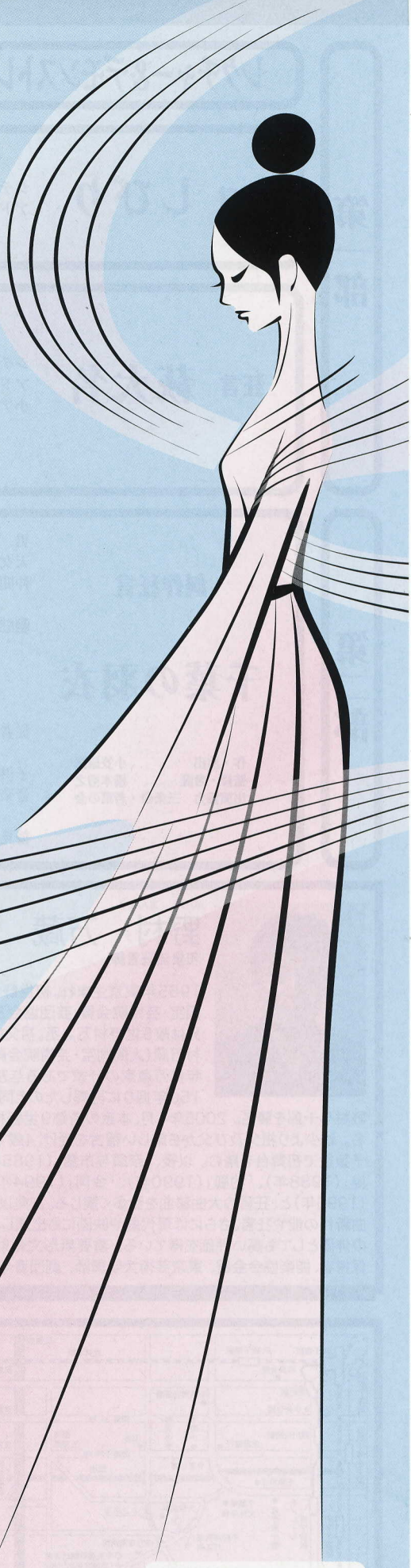
後 援 千葉県 千葉大学地域観光創造センター

助 成 財団法人地域創造

千葉大生による公演ホームページ <http://kyogen.kustos.ac/>

房総発見伝in狂言

千葉の羽衣



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に
役立てられています。

レクチャー&デモンストレーション 小笠原匡

狂言について初めての方にもわかりやすくお話いたします。

狂言 しびり

シテ アド 太郎冠者 小笠原弘晃
主 小笠原匡

堺へ使いに行くよう命じられた太郎冠者は、しびれが起こって歩けないと嘘をつきます。仮病を見抜いた主人は、伯父から振る舞いに呼ばれたのだが、病気ならば連れて行けないと言って太郎冠者をだまします。太郎冠者は治ったと言って立ち上がりますが…。

狂言 萩大名

シテ アド 大名 野村万蔵
太郎冠者 吉住講
小アド 亭主 野村万蔵

長らく在京している田舎大名が、退屈のあまり遊山に出かけようと太郎冠者に相談します。そこで太郎冠者は、下京のとある庭に咲いている宮城野の萩を見物に行こうと誘います。ところが、その庭の持ち主は大の風流者で、庭を見に来た人には必ず即席で和歌を詠むことを所望します。大名は無骨で歌を詠むという嗜みがないため、太郎冠者が聞き覚えていた歌を教えるのですが、大名はなかなか歌を覚えられず…。

創作狂言

千葉の羽衣

作・演出 小笠原匡
監修・考証 橋本裕之
出演協力 三条会・若菜の会

男 天女
仲間の天女

魍魎魍魎

従者

子供 音楽

後見

小笠原匡
野村扇丞
中本義幸
千葉大生
野村万蔵
山本豪一
友江恭平
三条会
ワークショップ受講者
吉住講
泉慎也
小笠原弘晃
太田豊 他

野村万蔵

千葉県に伝わる羽衣伝承に取材しながら、三保の松原を舞台とした能「羽衣」とも異なった、笑いのみならず人間味にもあふれた創作狂言「千葉の羽衣」を上演します。羽衣を奪われた天女が奪った男の妻になるという羽衣伝承は全国各地に見られますが、千葉県ではその男がかつて上総下総一帯を支配した千葉氏の当主であるとしています。また、妙見信仰や「千葉」という地名の由来とも結びついているという点は、全国でも珍しいものです。物語は、下総国池田の郷の男が月夜の晩に池田の池を訪れるところから始まります。狂言ワークショップを受講した千葉県民や千葉大生、そして狂言を創作する授業を受講した千葉大生も参加し、創作狂言として生まれ変わった羽衣伝承の世界をどうぞお楽しみください。

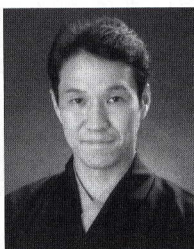


のむら まんぞう

野村 万蔵

和泉流狂言師

1965年東京生まれ。初世野村萬(人間国宝・芸術院会員・芸団協会会長)の次男。兄は故5世野村万之丞。祖父は故6世野村万蔵(人間国宝・芸術院会員)。2000年に万蔵家の分家である左衛門家を150年振りに再興したのと同時に、2世野村与十郎を襲名。2005年1月、本家の名跡9世野村万蔵を襲名。幼少より祖父及び父から厳しい稽古を受け、4歳で「靉猿」の子猿役で初舞台を踏む。以後、「奈須与市語」(1985年)、「三番叟」(1988年)、「釣狐」(1990年)、「金岡」(1994年)、「花子」(1996年)と、狂言の大曲秘曲を数多く演じる。古典以外にも、復曲新作の能や狂言、さらには現代劇や映画にも出演し、狂言以外の俳優としても高い評価を得ている。重要無形文化財総合指定保持者、能楽協会会員、東京芸術大学講師、劇団青年座講師。

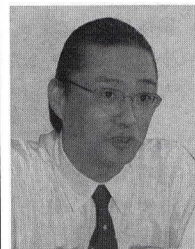


おがさわら ただし

小笠原 匡

和泉流狂言師

1965年東京生まれ。初世野村萬、故5世野村万之丞、9世野村万蔵に師事。すでに狂言の大曲である「奈須与市語」「三番叟」「釣狐」「金岡」を披く。また、新作狂言「鉢かづき」などの作・演出を手がける。さらに、能・狂言・文楽・落語・講談・和太鼓という6つのジャンルのコラボレーションをめざした「風流」を主宰して、「刀こぶ」「良忍さん」「石川五右衛門」などを作・演出する。2005年はNHK大河ドラマ「義経」、2006年はNHK金曜時代劇「出雲の阿国」の芸能指導を担当した。現在、萬狂言関西支部代表。重要無形文化財総合指定保持者、能楽協会会員、千葉大学客員教授、和太鼓集団「鼓童」講師。

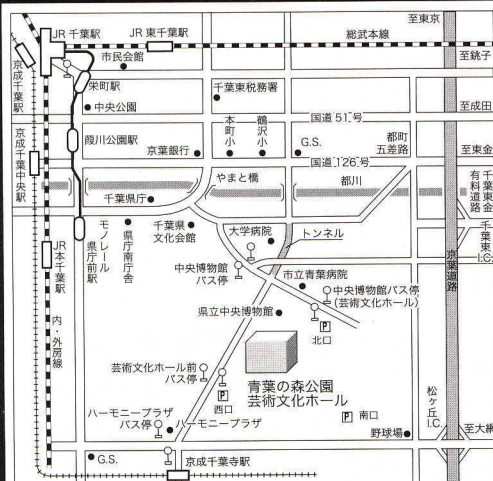


はしもと ひろゆき

橋本 裕之

千葉大学文学部教授

1961年大阪生まれ。早稲田大学大学院文学研究科博士課程芸術学(演劇)専攻退学。文学博士。国立歴史民俗博物館助教授、アイオワ大学人類学部客員准教授などを経て現職。専攻は演劇学・民俗学。近著に『演技の精神史—中世芸能の言説と身体』(岩波書店、2003年)、『心をそだてる子ども歳時記12か月』(講談社、2005年)、『民俗芸能研究という神話』(森話社、2006年)などがある。2005年、NHK大河ドラマ「義経」の芸能考証を担当した。



「房総発見伝 in 狂言」について

「房総発見伝 in 狂言」は、和泉流狂言師である小笠原匡、千葉大学文学部日本文学学科橋本裕之研究室、財団法人千葉県文化振興財団、そして千葉県民が連携することによって、千葉県に伝わる民話や行事に取材しながら、千葉発の狂言を創造するものです。昨年度は「抱腹絶倒ちばわらい」を制作しました。狂言師のみならず千葉県民や千葉大生も参加するという意味においてユニークな試みであり、地域と大学が連携するプロジェクトとしても画期的な内容であるといえるでしょう。

青葉の森公園芸術文化ホール 交通案内

〒260-0852 千葉市中央区青葉町 977 番 1 号 Tel.043-266-3511 <http://www.cbs.or.jp/>

- JR千葉駅東口より京成バス7番のりば
・大学病院・南矢作行き 中央博物館下車 徒歩10分
- JR蘇我駅東口より2番バスのりば
・大学病院行き 芸術文化ホール前下車 徒歩5分
- 京成千原線 千葉寺駅より徒歩15分
- JR千葉駅東口より千葉中央バス2番のりば
・県庁・青葉病院経由 中央博物館(芸術文化ホール)行き 芸術文化ホール前下車 徒歩5分
- ・星久喜台経由 ハーモニープラザ下車 徒歩8分